

こんにちは



第 78 号
3月定例会
平成29年4月20日

豊丘村議会 です

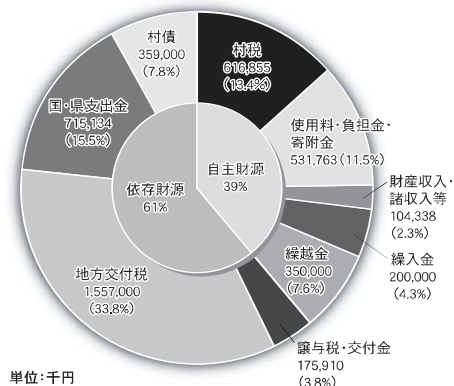
3月定例会

3月定例会の様子	2ページ
これから私たちの生活は	4ページ
「村の駅」民業にも配慮を	6ページ
28年度補正予算	8ページ
一般質問 山積する課題に挑む	9ページ
住民公聴会の開催を	21ページ
村の駅特別委員会	22ページ
常任委員会報告	23ページ

瞳を輝やかして

説明はP.21

歳入総額 46億1,000万円



単位:千円

歳入

自主財源 前年度より3%減るも堅調

村民税は、景気回復を見据え前年比16.1万円増の2億853.2万円、固定資産税は、49万円増の2億737.1万円、たばこ税は200万円減の3200万円を見込み、村税総額では、10万円増の昨年並み、6億168万円を計上した。

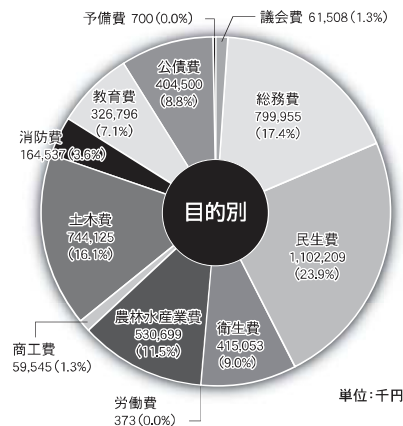
寄付金はこれまでのふるさと納税寄付金の受付状況から、前年同額の4億円を見込み計上した。

地方交付税は、地方財政状況から前年比2000万円減の15億5700万円計上した。

国庫支出金(国からの補助)は、村の駅とよおか整備事業の財源となる農業費補助に6673万円、急速充電器設置補助523万円など5262万円増の5億2457万円を計上した。

一般会計予算の内訳

歳出総額 46億1,000万円



単位:千円

歳出

村の駅とよおか(仮称)整備に全力

総務費では、壬生沢区民会館・福島会所増改築工事に1320万円など含む7億9996万円を計上した。

民生費では緊急通報システム整備委託220万円、伴野区・堀越区・佐原地区・福島区・壬生沢区が主催する敬老会に185万円、出産祝い金500万円など合計11億221万円を計上した。

農林水産業費では、村の駅とよおか(仮称)建設事業費1億7876万円など5億3070万円を計上した。

商工費では、住宅リフォーム助成金に1200万円など5955万円を計上した。

教育費では通学カバン購入補助金165万円など合計3億2680万円を計上した。

平成29年 第1回定例会 村の駅とよおか(仮称)の建設

未来とよおか創生プラン さらなる展開

第3回定例会

平成29年第1回定例会が、3月1日から、30日間の会期で開かれた。

1日開会日は、29年度当初予算案など28件が提案された。

村税改正及び、職員の勤務・報酬を改正する条例案、デイサービスセンターの指定管理者を社協とする案、水道監視システムの契約額変更案など6件を可決した。

副村長に菅沼康臣氏、代表監査委員に久保田勝氏を選任する人事案を承認し、その他の議案は委員会に付託された。

2日は総務産建委員会、3日は社会文教委員会、6日、9日は予算決算委員会が審査を行い、提案どおり採択した。

17日と22日には、11人が一般質問した。

27日には、28年度補正予算案など7件が追加提案され、29年度予算案、28年度補正予算案を原案通り可決した。

河野コミュニティセンター設置の条例、保育の必要性認定基準を変更する条例、保育施設の利用者負担を定める条例を可決した。

慈恵園南線を村道とする案を認定し、地域実情に応じた民泊制度を求める陳情、テロ等準備罪に反対する意見書を採択した。

28日までの当初会期を2日間延会し、最終日を30日とした。

30日最終日には、村の駅とよおか(仮称)建設の請負額を7億200万円へ増額する契約額変更案1件が追加提案され、原案通り可決した。

平成29年度 予算額

(単位:千円)

会計の区分		予算額	前年度予算額	対前年度増減額	対前年度増減率
一般会計	一般会計	4,610,000	4,450,000	160,000	3.6%
	国民健康保険	615,909	645,762	▲29,853	▲4.6%
	後期高齢者医療	68,730	70,697	▲1,967	▲2.8%
	介護保険	788,012	778,211	9,801	1.3%
	下水道事業	494,355	408,000	86,355	21.2%
	小計	1,967,006	1,902,670	64,336	3.4%
水道事業会計		207,638	393,000	▲185,362	▲47.2%
合計		6,784,644	6,745,670	38,974	0.6%

※水道事業会計は、平成29年度より公営企業会計へ移行した。



今年の資料館特別展、懐かしい作品に出会えます

今年の資料館特別展では、信濃教育博物館に30年前から保存されている郡展入選作品など展示を企画。

**豊丘の子ども
絵画展
10万円**

**中3対象に放課後
学習塾をスタート**
学校支援ボランティアによる、中学生を対象とした放課後学習塾をスタート。

**AEDを
コンビニに
設置
109万円**

**自主防
交付金は
150万円**

自主防災組織交付金を拡充、前年比30万円増の150万円。尚本年は消防の維持を考える会を開催し、今後について検討する。

**リニア、大気環
境測定車設置
など
325万円**

県の大気環境測定車を使って、環境への影響を観測する経費、リニア対策委員会報酬、地区対策委員会報酬。

【3月議会請願・陳情について】

- 陳情（23P参照）
地域の実情に応じた民泊制度の実現に向けた法整備を求める陳情

（採択）

陳情者 飯伊旅館組合 組合長
旅館丸山の湯 吉沢重治

- 陳情（23P参照）
村内中小建設産業者に対する一層の配慮のお願いについて

（採択）

- 陳情者 豊丘村商工会 会長 林壽
- 国会と政府に「意見書」を送付した。



堀越に予定されているゲストハウス

**緊急空き家
解体費に
100万円**

空き家対策計画に基づき、危険を回避できる様な手立てを行う。

**おいしい水
項目水質検査
48万6千円**

村内数ヶ所の源水と、近隣町村の水道水との水質比較検査。

**水量確保の為
田村第3水源新設
740万円**

議員の意志表示一覧表（全員賛成除く）

○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	竹村直子	滝川利秋	平澤恒雄	片桐忠彦	唐澤健	酒井浩文	吉川明博	松下亨	片原康明	片桐義憲	松村正三	唐澤啓六	川野孝子
<平成29年2月 第1回臨時会>														
予 算 平成28年度 豊丘村一般会計補正予算第8号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○
<平成29年3月 第1回定例会>														
予 算 平成29年度 豊丘村一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予 算 平成29年度 豊丘村介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他 平成28年度 村の駅とよおか（仮称）建設工事（林里）工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他 平成28年度 村の駅とよおか（仮称）建設工事（林里）工事変更請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書 「テロ等準備罪」に反対する意見書の提出について	原案可決	○	○	▼	▼	○	▼	○	○	▼	○	▼	○	▼

平成29年度予算 暮らしは、福祉は、産業は、

**村の駅施設整備等
1億7876万円**

トイレ・外構・研修施設など、29年度分本体建設工事費1億2900万円。
ザイ・登記に174万円
備品購入費4000円

**スタッフに協力隊を配置
4643万円**

村の駅開設に向けた

具体的取り組みとして、

**集会施設、改築も
補助対象に
500万円**

集会施設建設補助金の対象に、「改築等」を新たに追加、制度の拡充が図られた。

**壬生沢区民会館・
福島会所の
増改築工事費
1320万円**

**住宅取得補助金、
改築も補助対象に
3957万円**



平成30年春の開業をめざす道の駅 イメージ

**堀越にゲストハウス
1000万円**

昨年から実施したワーキングホリデー事業の効果を更に加速するため、ゲストハウス、お試し住宅の整備や、運営に係る経費など、3483万円。

多世代世帯の促進を目的に、従来の定住促進住宅整備補助金及び若い世代の住宅取得補助金の対象に、「改築等」を新たに追加、制度の拡充が図られた。

庁舎空調設備の更新 1400万円 北小ブル防水事業に 1400万円 老朽化による空調設備の更新工事費。	議会費 9,019円 (8,977円) UP 0.5%	総務費 117,295円 (123,863円) DO WN 5.3%	民生費 161,614円 (161,802円) DO WN 0.1%	衛生費 60,858円 (61,986円) DO WN 1.8%
	労働費・商工費 8,786円 (7,663円) UP 14.7%	農林水産業費 77,815円 (53,156円) UP 46.4%	土木費 109,109円 (97,333円) UP 12.1%	消防費 24,126円 (21,683円) UP 11.3%
	教育費 47,917円 (53,587円) DO WN 10.6%	公債費 59,311円 (58,492円) UP 1.4%	村民一人あたり 675,953円（前年度648,688円） 平成29年1月1日現在 総人口6,820人 UP 4.2%	

新たな定住促進事業として実施。特に消防に入団すれば1/2の助成の特典も。

29年度当初予 「村の駅」建設予算可決、レストラ

算の質疑から ンの夜の営業には厳しい意見が

平澤議員 受診率を上げる努力は、健康福祉課 各家庭に検診取りまとめ票を配布し、提出願う。国民健康保険特定検診は、受診率が高いと国から補助が出るので、対象

者には電話で提出要請もする。



受診率向上へ

〓 取りまとめ票提出を〓

唐澤(健)議員 憩の家浴場は頻繁に使用不可になるが、修理のみで乗りきれぬのか。

憩の家はよく故障するが

〓 補修で維持したい〓

健康福祉課 28年度2回工事した。浴槽配管とフレイカーの不具合、補修をしながら、維持して行きたい。

図書館態勢強化か

〓 司書を2名に増〓

片桐(義)議員 南信州図書館ネットワークに加入の町村は、教育委員会 飯田市、松川、高森、豊丘に喬木が加わり、阿智も検討している。

唐澤(啓)議員 態勢の強化だが、他町村の様子は。

教育委員会 ほぼ同じ規模の阿智村は、司書

村の駅レストラン夜は

〓 活性化のため営業も〓

井原議員 アドバイザーの50万とは、産業建設課 必要な時に必要なアドバイスを受けるよう計上するもの。多岐にわたる。唐澤(啓)議員 法人設立に関しては村単費だから、必要性を吟味すべき。現場でやっている人の話は価値あるが、企業診断士は必要ない。村長 ド素人が始めるので、野菜のトリミングやプレゼン方法など、具体的なことに使う。川野議員 直売所責任者は村内で、産業建設課 村内からは難しい。地域内でと考えている。松下議員 全体の費用は、今までの分を含めて私の計算では12億超。

明細を。産業建設課 今会期中には示したい。唐澤(健)議員 直売所レストランの責任者決定の目標は。産業建設課 5月末。片桐(忠)議員 上下水の負担金は取るのか。産業建設課 上水はテナント別に小メーターで計測。下水は従業員の手数にのじた使用料を徴収する。松下議員 レストランの夜の営業は民業圧迫になり死活問題。産業建設課 決定ではないが、宴会くらいは良いのでは。吉川議員 昼食のみにしたらどうか。村長 長い目で見れば発展に繋がる。地域活

性化しなければ。松下議員 その時々で都合の良い理由付けをしている。唐澤(啓)議員 昼を食べる場所の要望はあったが、夜の要望はない。レストランのあり方も

川野議員 超音波装置は人体へ影響はないか。産業建設課 果樹農家は鳥被害に悩んでおりその対策。人家からは離して設置する。井原議員 防護柵破損は倒木が主な原因だろうが、近年の状況を。産業建設課 倒木、落石が多い。有害鳥獣駆除対策協議会は各家庭から集める300円と、JAが組合員から250円ずつ集めた内の一部20万円を合わせ

鳥獣被害対策の詳細を

〓 超音波装置を導入〓



落石によって破損した防護柵

井水受益者負担金とは

〓 井水組合存続の一助〓

片桐(忠)議員 井水受益者負担金の考え方を。総務課 公共施設建設の為に旧農地を取得した時、その井水組合へ

雑穀等、特色を出して。井原議員 パス運転手ガイドの休憩室は重要。

防犯灯電気代全額村で

〓 区長会で要望あれば考える〓



利用者の多い「憩の家」の浴場、補修で乗り切れるか

松下議員 防犯灯のLED化率は、総務課 おおむね3割。吉川議員 電気代は全額村負担とならないのか。

総務課 2/3を村負担で70万円。1/3は地元。河野区以外は区が負担している。区長会で要望あれば考えた。村としては現状維持で。

2名、臨時司書1名、移動図書はなし。豊丘の方が事業は多いが、

司書1名、臨時1名だったので、司書を1名増員する。

パイプハウス補助現状は

〓 28年度1件のみ〓

唐澤(啓)議員 道の駅直売所に関わるパイプハウス補助の現況を。産業建設課 7月説明会は大勢の参加だったが、フタを開けたら1件のみ。やりたいが1人では難しいという感じがある。特に女性を中心に組織化出来るように。柿干し場は対象外だが、直売所へ出せる野菜等なら何でもOK。

家賃補助と家賃相殺できぬか

〓 あくまで補助金〓

片桐(忠)議員 村営住宅の家賃補助は、家賃と相殺できないか。総務課 あくまで補助金。支払い確認ができたら補助するもの。

一般質問

11人の議員が村政を問う

【1日目】3月17日

発言は通告順

- 吉川 明博** (10ページ)
- ・豊丘村6次産業化プロジェクト「村の駅とよおか（仮称）」について
 - ・リニア中央新幹線について
- 川野 孝子** (11ページ)
- ・新ごみ焼却場への移行の取り組みについて
 - ・豊丘村の飲料水の現状と今後の課題について
 - ・新万年橋（仮称）の最新状況について
- 唐澤 健** (12ページ)
- ・磁気ループの導入を
 - ・自主消防組織交付金の増額を
 - ・リニア残土の処理に関して
- 井原 康明** (13ページ)
- ・次期ごみ処理施設「稲葉クリーンセンター」の利用開始について
 - ・村内の除雪対策について
 - ・凍結防止対策について
- 滝川 利秋** (14ページ)
- ・地方創生が叫ばれる中、行政に携わる方々においしい価値観について
- 酒井 浩文** (15ページ)
- ・29年度事業と予算について
 - ・豊丘版ACEプロジェクトの内容について
 - ・閉じこもりの予防と対策について

【2日目】3月22日

- 竹村 直子** (16ページ)
- ・小学校学区の問題点について
 - ・弱者対策について
- 唐澤 啓六** (17ページ)
- ・リニア・トンネル残土の処分について
 - ・国保税資産割賦課の廃止について
- 片桐 義憲** (18ページ)
- ・リニア工事について
 - ・区・地区の負担軽減について
 - ・国保の財政運営県移行について
- 平澤 恒雄** (19ページ)
- ・コンビニへのAED配備開始について
 - ・学校トイレの洋式化について
 - ・窓ガラスの飛散防止について
 - ・厚生病院前の交差点について
- 松下 亨** (20ページ)
- ・固定資産税の評価について
 - ・公民館の役割と住民自治について

3月定例会 一般会計不用額計2億4千万円余

国庫補助の有無により、大きく減額



一日も早い国の交付金が望まれる筏橋の整備

一般会計補正予算

平成29年第1回定例会に上程された28年度補正予算は、一般会計、及び5特別会計に関わるもので、今年度の事業が概ね終了してきているに伴う、増減調整を行う内容となっている。

不用額総計は2億4千万円余、大きなものは、道路改良佐原線南市場中学校下と、河野新田横断線八王子筏橋で、国の交付金が予定通り付いてこなかった企業への下水道補助

215万円余が追加計上された。

国保特別会計補正予算

歳入ではふるさと納税分1億2千万円増額し5億2千万円とした。

歳出の主なものとして、共同事業医療費拠出金及び保険財政共同安定化事業拠出金合わせて732万円を減額するもの。

簡水特別会計補正予算
1億300万円を増額するもので、内容は29年度から企業会計に移行する事に合わせ、財政調整基金1億2600万円余全額を本会計に繰り入れて、事業減額分と合わせ1億3000万円余を予備費に充当するもの。

以下すべて可決

2月1日の臨時会で「村の駅」に6億4591万円補正される

2月1日に平成29年第1回臨時会が招集され、平成28年度一般会計補正予算案が上程された。補正総額は、歳入歳出それぞれ6億6840万2千円を追加するもの。また「村の駅」建設に伴う債務負担行為補正8790万円も合わせて提出され、賛成多数で可決された。

村の駅建設費用に

建物・駐車場等の工事請負費に6億3千万円、及び債務負担分8790万円と、その工事管理委託料に1591万円を補正するもの。今回の補正理由は、国の補正に伴い補助を受けることで、起債等有利となる。ただ年度内に契約することが条件にあり、臨時会となった。（建物の一部残事業あり）

ヘリポートの文化財発掘に伴う、賃金、機械借り上げ等に115万3千円を補正するもの。これは、リニア関連で中部電力が工事で使う坂島の文化財発掘に伴うもの。なお費用は、全額中電負担となり、歳入で受ける。

中学校入学支援補助等に

中学校入学支援補助等の費用に22万5千円を補正するもの。今までは支援者の確定が入学後に行われており、入学支援金が入学後に支給されていたものを、今年から入学前の支給とするため、なお小学校は今後検討。



稲葉クリーンセンターに向けて分別の周知は万全か

答 試験稼働、9月に合わせ取り組む

川野 孝子 議員

質問 最新の水質検査特に硝酸性窒素の値について高めの数値が出ている井戸があると聞く。

環境課長 すべての項目について基準はクリアしている。しかし伴野水源については硝酸性窒素の値が基準内

豊丘村の飲料水の水質の現状は

答 基準はすべてクリア

ではあるが高めに推移している。注視していきたい。

村長 高めの数値は承知している。基準内であるけれどより安心のために伴野水源の希釈も考えている。

質問 おいしい水、おいしくない水というの

質問 新しいごみ焼却場は12月の本格稼働に向けて動いている。9月には試験燃焼をやると聞いているが、あと半年の期間で住民への分別の周知は出来るのか。

環境課長 今集めている廃プラが燃えるゴミとして出せるようになる。しかし容器包装プラは今と同じ分別方法で出してもらわなければならない。そこをしっ

かり周知していきたい。各自自治会をまわりたい。ガイドブックの改訂も必要になるので準備を進めている。

質問 新しい袋の価格。証紙については決まっているか。

環境課長 新しい袋は現在の袋の1.3倍になる。価格はまだ未定。袋の大きさは今回も大小があり証紙は60円と30円で変わりはない。



新しい燃やすごみの袋（大）、廃プラもこの袋に

質問 最近高森町側の架橋予定地で何か事業が動いているように見えるが。

産業建設課長 高森町に確認したところリニア工事の資機材の置き

答 平成34年完成予定

新万年橋（仮称）の最新の取り組みは

は個々の味覚の違いも当然ある。器具が傷みやすいという声もある中で豊丘村の飲料水がどういう水なのか研究してもらいたいと考え

ていた。何か取り組みは。

環境課長 新年度予算の中で要求している水質検査は、村内の下段の水源の原水。それと

近隣町村の水を採取させて頂き比較検討ができるような水質検査をやってみた。

質問 最近高森町側の架橋予定地で何か事業が動いているように見えるが。

産業建設課長 高森町に確認したところリニア工事の資機材の置き

の真意はどこにあるのか。

村長 県の方で平成29年度に採択した事業にスパンが示されている宮ヶ瀬橋は32年に。新万年橋については34年と示されている。

産業建設課長 県の公共事業評価監視委員会

で新万年橋の新規事業評価がされた。内容は道路総延長800m。橋の延長が300mで工期が平成29年から34年までの6年間。事業費は30億円が示され、必要性、重要性から妥当であると判断された。



村の駅とよおか（仮称）について

答 仮称は「道の駅南信州とよおかマルシェ」

吉川 明博 議員

質問 豊丘村6次産業化プロジェクトの村の駅とよおか（仮称）について、政府は自治体支援策の特例税制の対象に下伊那郡豊丘村を全国で初めて認定した。中山間地の中心部に生活関連施設を集め「小さな拠点作り」で、2018年の開館を目指す道の駅（仮称）南信州とよおかマルシェを中心に、「小さな拠点」の整備を進める計画。管理運営は、新たに設立する村や村民が支出する株式会社が担う。特例で個人出資者を税制面で優遇する。これは村が進めている施策に大きな追い風になった。進捗状況と今後の予定の説明を。

産業建設課長 造成工事ほぼ終了し、建設工事に入る入札期間中、3月末には議会の議決承認、建築工事業者が決定したら、来月以降工事に取組み、来

年の2月下旬には竣工、完成する予定。運営する新法人「株式会社豊かな丘」は、29年8月頃から出資にかかる説明会を開催、村民の出資金を募り、12月をめどに新法人設立する。新法人設立に向け発起人委員会を開催している。本議会予算議決後4月から会社設立の定款や出資金の募集方法等を進める計画だ。村民から多くの出資をいただき、愛され、村の農業、商業の中核をなす施設となつて発展できるように、お願いしたい。

直売出荷者の登録は29年8月頃から直売所部会等で検討を進めていく、大勢の登録をいただき、野菜等の出荷をお願いしたい。野菜栽培の先進地視察4月計画をした。

要請 個人出資者は税制面で優遇される、ふるさと納税と同じように、個人出資者に額に

応じて税金の控除がなされるのではないかと。全国初ということであり豊丘村で進めてきたこと

要望 リニア中央新幹線についてJR東海旅客鉄道が長野県に提出した「豊丘村内発生土置き場（本山）」における環境の調査及び影響検討の結果について」に6項目の疑問がある」と日本科学者会議長野県支部が長野県に意見書を出した。これの内容については村の中の検討、JRとの対応については一つ一つを克明な回答を得なければならぬ項目であり理解と研究を要望する。（質疑は割愛）



2016年7月15日山梨県 笛吹市 リニア実験線視察
トンネル出入り口の衝撃音を消音する緩衝工

リニア発生土置き場（本山）の環境重視を

とが、時流の先頭に立っている。特に村の株式出資については「ある程度の菌止めが必要だ」との意見がある、村の駅の計画の根幹にかかると、しっかりと慎重な審議を進めていくべき。



稲葉クリーンセンターの利用開始準備は

答 9月開始に向け準備を検討中

井原 康明 議員



開設が待たれる「稲葉クリーンセンター」

質問 本年9月からの試験運転に向けての準備状況や、分別弱者への支援計画などについて伺う。

環境課長 9月には実際の収集した物を試験的に燃やすので、各町村からの受け入れも9月からが実情と考える。

質問 9月変更に向けて、村民の方や関連業

者及び衛生係などへの周知が早急に必要となるが、各関連者への案内・分別マップの作成準備・収容箱の確保や増設・ゴミ処理困難者への支援体制等などの様に考えるか。

環境課長 村内への周知については7月中旬くらいから各自治会単位で説明会を行う。また広報誌、有線、隣組文書でも伝えて行く。収集箱は様子を見ながら対応する。収集困難

者への支援は継続して実施する。

質問 三重県のある市では、収集袋の変更により、一部のサイズの袋が大量に残り、大問題になっているが、当村での見込みは大丈夫か。

環境課長 現在廃プラスチック袋は6500枚の在庫があるが、変更になる事で在庫にならない様、調達手配を考えている。

質問 仮に在庫になっ

村内における除雪開始の案内は 区の土木委員との情報交換や職員 の確認で行う

質問 1月8日の降雪時に村内23カ所の積雪状況の調査を実施したが、村内の山間部と下段では積雪に大変な違いがある事が分かった。除雪はどのタイミングで行うか。

産業建設課長 除雪に関しては業者に依頼す

る場合や、業者別に対応エリアも決めており、土木委員の情報や職員の確認から業者及び村民の方に協力を依頼している。

質問 塩カル散布のエリアマップには道路利用の多い西部線が含まれていないが何故か。

産業建設課長 バス路線を基本としている。要望 山間部の西部線、上佐原、赤畑釜沼線などは生活路線でもあり1週間くらい残雪が続くなどする為、また住民の方の安全確保の為に、除雪及び塩カル散布の対象を願いたい。また除雪協力のあり方についても再度見直しを願う。

環境課長 稲葉に持ち込みは可能である。



除雪・残雪の多い佐原地区



本山に造成する森林の管理協定は

答 環境保全や管理の協定・覚書を結ぶ

唐澤 健 議員

質問 保安林を解除することにより3区の役員が盛土の責任を負うことになるが。

村長 その人たちが裁判の対象になる可能性はゼロではない。

質問 造成する森林の維持管理等に関する協定書を結ぶのか。

村長 発生土置き場の、環境保全や造成後の管理を協定・覚書等で結ぶ。

質問 リニア残土の谷埋め盛土の安全については、各地の谷埋め盛土が、地震や異常降雨によつて崩壊している。工事業者が東北の震災で、現在の盛土基準で疑問だとしている。

村長 本山更生会の発生土置き場候補地については、大規模な谷埋め立て盛土となることから、通常の盛土のり面の安定性に加え、盛土全体の安定性についても検討する必要がある。県と一緒にJRR東海に対



残土置き場の排水溝 (山梨県)

して検討を求めている。JRRから出された検討結果を見る中で、安全性の確認をする。

質問 JRRは、県の基準で盛土をすると言っている。県は保安林解除の基準の法律に基づいて審査するが、安全性の保障・担保はJRRと言っている。村長は村の責任で本山の盛土を認めると考えているのか。

村長 豊丘村には、安全か安全で無いかのノウハウはない。県の判断を踏襲する形になる。

質問 下流域自治会、特に林里地区、伴野地区の北入、上村、古畑の地区の自治会と懇談会を持つべきではないか。

村長 工事説明会等の状況も踏まえながら、リニア対策委員会でも協議して判断する。

意見 残土の運搬については、村民の生活に最低の負荷となるように作業の期間、車両台数、通過車両台数を、JRR

と交渉していくべきだ。数年間の期間を延ばしても下に運び、上に盛土をすべきでない。

本会議場の磁気ループ検証を

答 事前に連絡があれば検討する

質問 磁気ループを借りて有効か検証された。

村長 事前に連絡があれば検討する。

質問 本会議の傍聴者から「耳が遠いから聞

き取りづらい」と言う話だ。磁気ループを設置された。

村長 飯田市は設置したが使用されていない。近隣町村を見て判断する。

自主防災組織の交付金増額を

答 自らつくる地域づくりの補助金もある

質問 自主防災組織の交付金の増額を。

村長 自らつくる地域づくり事業という補助金も使える。

質問 自主防災組織の交付金が、29年度の予算案で1団体あたり5万円増額し、1団体あ

たり25万円、堀越区の決算では39万円、河野区の決算では34万円。財政的負担をかけないことが求められる。

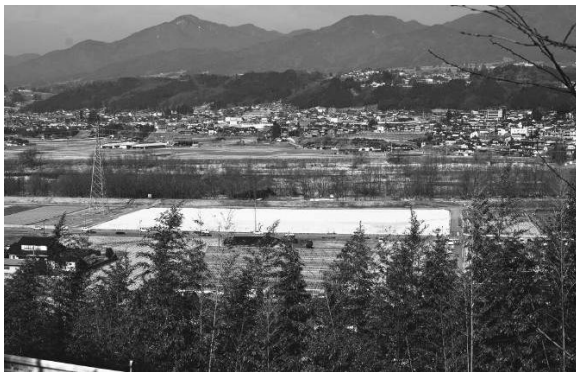
村長 自主防災組織を運営する中で、問題点があれば柔軟に対応する。



平成29年度重点テーマと目玉事業は

答 「道の駅」「教育環境の整備」である

酒井 浩文 議員



高台から望む、建設が進む「村の駅」

質問 平成29年度は「未来とよおか創生プラン」の更なる展開と具体化に向け、様々な事業の取り組みが計画されている。新年度に向けた一般行政教育行政それぞれの重点テーマとポイントは。

村長 間違いなく「道の

い。

教育長 ①安心して子育て、就学できる環境の整備 ②安全安心な教育環境の整備 ③学力の向上と考えている。

特に、若者の「Uターン」である。様々な可能性を信じて村民の皆さんの応援をお願いしたい。

豊丘版ACEプロジェクトの内容は

豊丘版ACプロジェクト
答 健康豊丘21

一環としての公設学習塾の設置などが特徴的な施策である。

を実施し必要性を周知する。E：若い母親対

閉じこもり・引きこもりの予防と対策は

答 お気軽にご相談を

質問 社会的孤立は幅広い世代に起こりうる問題である。高齢期において特に影響が大きい。閉じこもりがちなる生活を続けていると、心身の機能が低下して生活機能が落ちてしまうため、予防と対策として、介護予防の観点からも重要な課題と考える。現状と対策は。

伊サビズやサロン、パワーアップ体操、日常生活支援総合事業の利用を奨励し、外出の機会を提供している。

教育委員会事務局長
少年・青年期の相談窓口は、教育委員会事務局、子育て支援センター、小中学校が窓口となっている。秘密は厳守されるので気軽に相

策として、個別の受診
勧奨、地区健康学習会

健康福祉課長 高齡者
においては、地域ミニデ



大切にしてほしい農の価値

答 職員は皆よく理解している

滝川 利秋 議員

質問 早速議員は研修会と、「田園回帰の時代表」と地方行政」という講演を聞いた。その内容は、『今、中山間地域では、社会と産業を支えてきた昭和1桁世代が全員80代となり、急激な引退局面が訪れている。一方、団塊世代が入居した都市部の団地では、爆発的な高齢化が起きている。地方と都市で、同時に発生している持続性の危うい状況』という内容だった。

豊丘村は、主産業である農業によって守られてきた事実。多くの人々が口にする「農村の原風景を守る」という意味。地方創生は、言い換えれば、地元の作り直しと言える。地

方¹の持つ価値観、即ち農村や農業の持つ価値観を自信を持って大切にしながら、たつた地方の値打ち²は無いと思う。

私は行政に携わる職員の方々が、これらの価値観を頭の片隅において、

議長 議会での一般質問は、価値観や思想について論じる場ではな³い。代表して村長に答⁴える意思があれば発言を。

村長 都市部の歪みが、出てきており、田園回帰の今一番のタイムイン⁵グの時と考える。地域⁶の活力の原点は、生産年齢の人達が、この地で働き、子育てをしてもら⁷える事。農業は多面的機能があり、他産業とは違⁸う事は役場職員はじめ全村民理解していると思⁹っている。

今こそ田園回帰の時

いて、住民と接して頂くことが大切で、毎年住民の1%に影響を与えて意識改革を図ってほしいというお願いである。理事者及び、全課長にお答え頂きたい。

議長 議会での一般質問は、価値観や思想について論じる場ではない。代表して村長に答

あるが、豊丘らしきを
活かしながら活力ある
村にしていきたい。

いたどりのつ
目的た真の

報告 水利台帳作成を、多面的事業を利用して取り組む呼びかけを村として始めた事が議会だより前号で記載されていた。その事について担当者は次の様

に語ってくれた。「ようやく多面的事業の究極の目的がわかりました。当初は補助金を使う事だけを考えていたが、この事業の最終的な目的は、関係者の方々が、どうやって今後、水路や農地農道を守っていくか皆で構想を作り上げていく事でした」と。かく補助金のみが目がいっしょいがちだが、一番大切な部分を捉えていた担当者に頭が下がる思いであった。



足元から創り直した温かいムラ、人も風景も…（福島本村棚田）



リニアの林道改良工事は住民理解が前提

答 JRの工事説明会で住民の意見を聞く

唐澤 啓六 議員



29年度休業する野田平キャンプ場

質問 坂島工区における諸問題について伺う。
①資機材運搬に必要な虻川林道改良工事による、野田平キャンプ場の営業への影響は。
②坂島非常口トンネルより排出される残土の運搬は数年間に及ぶ。
この間のキャンプ場及び坂島ポットホールへの通行はどうか。
産業建設課長 ①長期間の通行規制が必要となるので、JRや工事会社からキャンプ場休業のお願いがあり、29年

度中は休業。③30年度以降は、発生土運搬中でも一般車両の通行は可能である。
質問 野田平キャンプ場ポットホールは当村にとって大切な観光資源である。影響のある林道改良工事の是非を村民に問うべきでは。
村長 1年間閉鎖による客離れは当然予測される。
30年以降の観光のあり方も検討している。
林道の改良は必要であり、JRの工事説明

会で地域の意見を伺う中で進めていく。
質問 坂島工区より排出される残土130万mを虻川上流の支流沢筋に処分することを前提とした林道改良工事は、虻川下流域住民の同意を得た後に着工すべき。
村長 計画中の改良工事は、資機材運搬のためであり発生土処分による下流域住民の合意とは別のものである。
質問 坂島工区より上部の残土処分計画地までの林道改良工事計画は、JRと協議を進めているのか。
産業建設課長 協議をしている。
質問 河川上流部への盛土は、流出による下流域への災害発生の懸念のみにとどまらず、水質汚濁による魚類や水性動植物への影響及び農業用水路への泥水流入の多発ということが考えられる。このこ

とは、日本科学者会議が県環境政策課へ提出した意見書で指摘されている。村長の見解は。
村長 県では対応を考えているが、村として
質問 平成30年度から国民健康保険制度は大きな転換期を迎える。
市区町村と共に都道府県も財政運営の主体を担うこととなる。市区町村は、被保険者の直接的な対応、国保税の徴収等は従来通り行うが、税の賦課方式は県から標準方式が示される。本県における賦課方式の方向性と近隣市町村の動向はどうか。
健康福祉課長 村は県から示された納付金を被保険者から国保税として賦課徴収し、県に納めることとなる。県が示す標準保険率は資産割を除く3方式とし

も県の対応に合わせていく。工事の結果として不都合が出れば、企業に救済を働きかけるのは当然である。
質問 農産経営が厳しさを増す中、農地等の資産への賦課は廃止すべきである。
村長 資産割を算定する固定資産税には農林地等生産のあがりが、資産割を含まれており、資産割をなくす方向で検討している。激変緩和を考え段階的に廃止していきたい。



通学区問題は若い世代の考えで

答 住民ニーズあれば考える

竹村 直子 議員

質問 昭和48年田中角栄内閣の日本列島改造論が叫ばれる中、村では開発審議会によって総合振興計画に小学校の統合新築計画が盛り込まれ、議会が議決。そこから問題が始まり、56年から堀越の小学生が南小学校へ通っている。その経緯を。
教育委員会事務局長 統合が2校かという村を挙げての議論の末、52年12月議会で当時の唐澤村長が2校制、現地改築を表明。直後、堀越区では分教場で学んだ経緯から、大きな学校へ通わせたいという保護者の気持ちで、南小学校への通学区変更の陳情が出された。53年2月議会で、現時点ではやむを得ずと付帯事項の採択。冷却期間を置きそれぞれの立場で最良の検討しようとなり、ほぼ3年後の56年1月議会全員協議会で、堀越区通学区



当時の公民館報

変更申請を受け入れ、教育委員会が堀越児童の南小通学区を決定した。
質問 保育園は北、小学校は南ということについてどう考えるか。
教育長 学区については8年間議論続いたが、園の話はなかったというところ。
質問 北保育園の卒園時には、お友達と別れ

別れになるのが悲しくて泣けてしまう様子。園は地区ごとに決められているのか。
子ども課長 原則は地域の園だが、家庭の事情や都合で地域外でも認めている。
質問 入所説明会で話しているのか。
子ども課長 自由だとまでは言っていない。
質問 ゆるやかな選択

がし易くなるようにして。当時のことは保護者が中心に決めたようだから、今後のことはこの不自然な状態を経験した子供や親が考えたらよい。いつまでも過去にこだわっているは、豊丘村が一つになれない。
村長 この問題に直面する人から声が上がれば対応する。住民ニーズをくみ取るスタンダード。教育長 直面する人から出たら議論する。

弱者が協同で暮らす手助けを

答 モデルあれば提案を

質問 母子、父子家庭に対する支援は十分か。
村長 充分ではない。
質問 飯田市の母子寮は今年3月で休止。1人親家庭、高齢者、障がい者を隔離するのではなく、助け合いなが
ら一緒に暮らす場所を作りたいとなった時、補助をする考えは。
村長 今は考えていない。良いモデルケースがあれば提案を。
質問 直面する人は声を上げられない。議員とはお節介者な者だ。新事業のゲストハウスは、堀越の空き家を改修した子供や親が考える管理人にするそうだが、学校問題が移住の障害になる可能性は。
村長 可能性はない。提案 障害になる。中学校の模擬議会の議題にする等、若い世代が考える機会を作った。過去のわたかまりを払拭し、明るい豊丘に。



コンビニへAED配備で期待する効果は

答 24時間365日、いつでも使えて非常にプラス

平澤 恒雄 議員

質問 家庭のトイレは洋式がほとんどで、子供たちは洋式に慣れており、学校の和式を嫌う傾向がある。学校で大便をしないのでらえている小学生が、割いるとの調査もある。学校トイレの洋式化の考えと現状を伺う。

答 私も1期目の2年目に学校トイレの洋式化とウォシュレット化に取り組んでおり、中学と南小は洋式化が進んでいる。そのみならず全体の公共施設の洋式化にも取り組んで行く。洋式化の現状は中学校が66分の44で66%、南小学校が45分の32で71%、北小学校が25分の

学校のトイレの洋式化を進めたらどうか

答 中学と南小は進んだ、北小は来年度やる

多くの人が集まるところにAEDを置けば、非常にプラスになる。

質問 コンビニへの配備に当たり、取扱いについてどのような依頼をするのか。

答 総務課長 協力いただけるコンビニ2店と、普通救急救命の資格を取得していただくよう

に協議する。秋の消防団講習に合わせられればいいかなと考える。

質問 AEDのコンビニ設置については、昨年6月議会で一般質問し、村長は「近隣の状況を見て研究する」との事だった。来年度予算にコンビニ配備用のAED購入費を付けている。配備の内容と効果について伺う。

答 村長 一年中開いているコンビニは、1日1000人の来客がある。多くの人が集まるところにAEDを置けば、非常にプラスになる。

質問 コンビニへの配備に当たり、取扱いについてどのような依頼をするのか。

答 総務課長 協力いただけるコンビニ2店と、普通救急救命の資格を取得していただくよう

に協議する。秋の消防団講習に合わせられればいいかなと考える。

質問 AEDのコンビニ設置については、昨年6月議会で一般質問し、村長は「近隣の状況を見て研究する」との事だった。来年度予算にコンビニ配備用のAED購入費を付けている。配備の内容と効果について伺う。

答 村長 一年中開いているコンビニは、1日1000人の来客がある。多くの人が集まるところにAEDを置けば、非常にプラスになる。

質問 コンビニへの配備に当たり、取扱いについてどのような依頼をするのか。

答 総務課長 協力いただけるコンビニ2店と、普通救急救命の資格を取得していただくよう

に協議する。秋の消防団講習に合わせられればいいかなと考える。

質問 AEDのコンビニ設置については、昨年6月議会で一般質問し、村長は「近隣の状況を見て研究する」との事だった。来年度予算にコンビニ配備用のAED購入費を付けている。配備の内容と効果について伺う。

答 村長 一年中開いているコンビニは、1日1000人の来客がある。多くの人が集まるところにAEDを置けば、非常にプラスになる。

質問 コンビニへの配備に当たり、取扱いについてどのような依頼をするのか。

答 総務課長 協力いただけるコンビニ2店と、普通救急救命の資格を取得していただくよう

に協議する。秋の消防団講習に合わせられればいいかなと考える。



伴野区民会館の玄関に置いてある

る。7で28%と遅れている。

質問 学校のトイレは子供たちだけのための物ではない。大規模災害の避難場所としての指定がある。トイレの洋式化について、今後の対応を伺う。

答 教育長 29年度予算で、北小学校の体育館のトイレ洋式化を行なう。これにより5個の洋式化が進み、洋式化率は50%程度となる。和式が必要との考えもあり、3分の1は和式を残す考えで行く。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 伊那谷は東海沖地震の防災対策強化地域で、想定は震度5強から6弱。窓ガラスが割れはじめる強さだ。窓ガラス飛散防止の現状を伺う。

答 教育委員会事務局長 体育館と校舎校庭側の窓ガラスは対策済みで廊下側が未対応。

質問 厚生病院前の交差点が渡るに怖い。声がある。どう捕らえるか伺う。

答 村長 渡りづらい事を確認した。村として高森町に話をする。

質問 今後の対応を伺う。

答 産業建設課長 高森町と連携して管理者で有る県へ対応する。

質問 厚生病院前の交差点が渡るに怖い。声がある。どう捕らえるか伺う。

答 村長 渡りづらい事を確認した。村として高森町に話をする。

質問 今後の対応を伺う。

答 産業建設課長 高森町と連携して管理者で有る県へ対応する。

質問 厚生病院前の交差点が渡るに怖い。声がある。どう捕らえるか伺う。

答 村長 渡りづらい事を確認した。村として高森町に話をする。

質問 今後の対応を伺う。

答 産業建設課長 高森町と連携して管理者で有る県へ対応する。

質問 厚生病院前の交差点が渡るに怖い。声がある。どう捕らえるか伺う。

答 村長 渡りづらい事を確認した。村として高森町に話をする。

質問 今後の対応を伺う。

答 産業建設課長 高森町と連携して管理者で有る県へ対応する。

質問 厚生病院前の交差点が渡るに怖い。声がある。どう捕らえるか伺う。

答 村長 渡りづらい事を確認した。村として高森町に話をする。

質問 今後の対応を伺う。

答 産業建設課長 高森町と連携して管理者で有る県へ対応する。

質問 厚生病院前の交差点が渡るに怖い。声がある。どう捕らえるか伺う。

答 村長 渡りづらい事を確認した。村として高森町に話をする。



住民生活へのリスク最小限に

答 個々の立場、十分認識している

片桐 義憲 議員

質問 リニア関連工事の説明会が各会場で行なわれているが、工事内容が主なもの、住民生活へのリスク、不安への対応の場としても重要であると考えている。この様な状況と今後対応について、どのような考えか伺う。

答 総務課長 私もしろんな不安を感じている。現状では、それらの課題を一つ一つ潰していくしか無いというのが本音である。個々の意見が説明会では、出しづらいことも十分に認識している。

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県



の補助金を差し引いた一般財源分の10%で検討している。今後多くの事業が補助対象となる様努める。

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 リニア関連工事の説明会が各会場で行なわれているが、工事内容が主なもの、住民生活へのリスク、不安への対応の場としても重要であると考えている。この様な状況と今後対応について、どのような考えか伺う。

答 総務課長 私もしろんな不安を感じている。現状では、それらの課題を一つ一つ潰していくしか無いというのが本音である。個々の意見が説明会では、出しづらいことも十分に認識している。

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県



坂島工区まで60ヶ所余で改良工事が行われる

質問 リニア関連工事の説明会が各会場で行なわれているが、工事内容が主なもの、住民生活へのリスク、不安への対応の場としても重要であると考えている。この様な状況と今後対応について、どのような考えか伺う。

答 総務課長 私もしろんな不安を感じている。現状では、それらの課題を一つ一つ潰していくしか無いというのが本音である。個々の意見が説明会では、出しづらいことも十分に認識している。

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

質問 リニア関連工事の説明会が各会場で行なわれているが、工事内容が主なもの、住民生活へのリスク、不安への対応の場としても重要であると考えている。この様な状況と今後対応について、どのような考えか伺う。

答 総務課長 私もしろんな不安を感じている。現状では、それらの課題を一つ一つ潰していくしか無いというのが本音である。個々の意見が説明会では、出しづらいことも十分に認識している。

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 リニア関連工事の説明会が各会場で行なわれているが、工事内容が主なもの、住民生活へのリスク、不安への対応の場としても重要であると考えている。この様な状況と今後対応について、どのような考えか伺う。

答 総務課長 私もしろんな不安を感じている。現状では、それらの課題を一つ一つ潰していくしか無いというのが本音である。個々の意見が説明会では、出しづらいことも十分に認識している。

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

質問 地区の実状には差があるものの、高齢化や、人口減等で運営は厳しい。より施策の充実に向けた見解を伺う。

答 産業建設課長 用水路改修については事業費全体ではなく国・県

残土処分地計画が焦点

…リニア 特別委員会…

委員長 酒井 浩文

「村への照会事項の回答」

昨年12月、委員会より村に求めた照会事項の回答を要点で報告する。

Q J R 柏原変電所は、盛土量を減らし擁壁の高さを抑えるため位置の修正は可能か。

A 変電所は現時点での計画であり、今後測量や詳細な設計を踏まえて最終形について検討し説明する。

Q 本山の下伊那電東断層と残土処分地の影響を、ボーリング調査の結果からどう考えているか。

A 本山候補地全体を調査した結果、硬質で良好な岩盤が確認できた。盛土は最新の国の基準に基づき、震度7クラスの地震でも崩壊しないように設計する。

Q 工事車両の運行はどのような理由でこのルートなのか。

A 道路改良が計画さ



大柏地区に作業員宿舎の建設が進められている

元を確認し、住民の皆さんが不安になるような行動がないよう教育を徹底する。

Q 対策委員会のあり方、住民公聴会等の開催は。

A 対策委員会の開催頻度は29年度からは相当地増加していくと考えている。開催時期は日程調整する。住民公聴

「県担当者との懇談会を開催」

2月14日の第10回委員会は、県のリニア整備推進事務所などの6名を招き懇談会が行われた。村内に計画されている残土処分候補地に関して、県は十分な設計になるようJ Rに求めたいとしつつ、あくまで所定の基準に適合しているかの判断で安全性を審査するが「未来永劫大丈夫」という立場ではないとの見解を示した。

リニア相談ホットライン

☎ 351-9050

※リニアに関するお困りごとや相談は、役場リニア対策室へお気軽にご連絡下さい。

表紙の写真

保育士さんの「アンパンマン」に大喜び。明日からの保育園楽しいよ。(豊丘村北保育園の入園式)

裏表紙は、青空に映える木蓮の花。(豊丘中学校)



固定資産評価額の見直しは

答 平成33年の評価替えに行く

松下 亨 議員

質問 土地に対する固定資産税を課税する基準は。

答 税務会計課長 まず、宅地や畑などの地目別、状況が似た地区毎に標準的な土地1カ所を標準値地に選定する。次に、その土地について不動産鑑定士に評価してもらおう。次に、その状況類似地区内のそれぞれの土地に対して、標準値と比較して、道路条件や奥行き・形状などについて評価のうえ係数を加減して評価額を算定している。

質問 同じ状況類似地区内の評価についてはこの評価方法によつて適正な額と認められるが、違う状況類似地との評価額の調整はどのように行っているか。

答 税務会計課長 長年、当村の鑑定評価を行っている不動産鑑定士の評価にたいして、村においてはその後の価格調整は行っていない。

質問 このような評価を行っているというところだが、現在において評価の課題とか問題点をどのように考えているか。また、問題点や課題があるとしたら今後においてどのように対処するか。

答 税務会計課長 村内の質問 公民館活動は、本館や分館役員等の努力により活発に行われている。

そこで、最初に公民館の役割は何か質問する。

答 教育委員会事務局 公民館の役割は、①地域の人のつながりを培う。②地域の問題や生活環境を住民目線で見直し、学習活動を展開すること、この2点が柱になる。

質問 公民館と住民自治の関係についてはどう

全城を見渡すと不均衡が生じているところもあるのかと考える。これについては、事務的に30年の評価替えには間に合わないで、その次期評価替え(33年)時に検討し見直しをしたい。

質問 本日の質問を契機に皆で考える

答 住民自治の向上策は

住民自治の向上のためには何が必要と考えるか。

教育長 6年ほど前に、河野区会で松下議員と一緒に松本市議会議員会へ視察に行った。ここでは、1人の女性リーダーが地域の問題点等を掘り起こし、解決に繋げる活動を行っていた。まさにこれが住民自治だと感じた。

質問 当村でも、原木門公民館における村営水道の水質問題や、



第6分館の学習会「悪徳商法に注意」に真剣なまなざし

住民の有志によるシニアサポート研究会の活動など、住民自治向上の取り組みを行つて成果を上げている。今後の更なる取り組みについて、どのように考えているか。

教育長 公民館学習会での活動内容の見直しや、若者の村づくり参加に資するための方策など、本日の質問を契機に住民自治の向上に向けた活動を行ってきたい。

河野コミュニティセンター・ 交流センターだいち指定管理者決まる

総務産建委員会報告

委員長 井原 康明



新木も香る河野コミュニティセンター 4月11日竣工式行われる

3月第1回定例会に於いて、総務産建委員会に付託された3件の議案と2件の陳情について、委員会審査の結果を報告する。

総務産建委員会は3月2日に開催し、付託議案及び陳情について審査を行った。

河野コミュニティセンター設置条例の制定について

本議案は、地方自治法に基づき河野コミュニティセンターの設置及び管理について、必要な事項を定める。

審査の結果

全会一致で可決
(賛成6・反対0)

審査にあたって

特に異論も無く、設置・名称及び位置・管理及び運営委託・指定管理者が行う業務・指定管理者の指定の手続き・委任規定等に関する内容が委員会でも可決となった。

河野コミュニティセンターの指定管理者の指定について

本議案は同センターに指定管理者を定めるもの。

審査の結果

全会一致で可決
(賛成6・反対0)

審査にあたって

特に異論も無く、指定管理者に管理をしてもらう施設の名称「豊丘村河野コミュニティセンター」指定管理者となる団体の所在地「豊丘村大字河野1562番地1・名称「河野区河野区長市瀬憲・期



間平成34年3月31日まで等が委員会でも可決した。

村交流支援センターの指定管理者の指定について

本議案は地方自治法に基づき、同センターの指定管理者を指定するもの。

審査の結果

全会一致で可決
(賛成6・反対0)

審査にあたって

施設の名称「豊丘村交流支援センター」団体の所在地「豊丘村大字神福3128番地1・名称「特定非常利活動法人だいち・理事長「菅沼康臣・期間「平成34年3月31日まで5年間など特に異論も無く委員会でも可決となった。

地域の実情に応じた民泊制度の実現に陳情

陳情者「長野県飯田市龍江194、飯伊旅館組合、組合長旅館丸山の湯吉沢重治

審査の結果

賛成多数で採択
(賛成4・反対2)

審査にあたって

実情は理解出来るが、利用者ニーズに合った営業努力も必要との意見も出されたが委員会でも採択された。

村内中小建設業者に対する一層の配慮を求める陳情

陳情者「豊丘村神福385の5・陳情者「豊丘村商工会会長林壽

審査の結果

賛成多数で採択
(賛成5・反対0・退席1)

審査にあたって

陳情内容には理解が出来、村に対して配慮を求めて行く事とし賛成多数で採択とした。

請負業者が決定 変更契約も締結

村の駅とよおか(仮称)特別委員会 委員長 片桐 忠彦

本特別委員会では、設計内容・運営方法等不明なところがまだまだ多く有るとして、それらを取りまとめ、質問書として、12月末村に提出し1月にその回答をえた。そこで今回は、その回答内容について報告する。

建物の設計について

Q 建設費は押さえて、シンプルに安く

A プロポーザルでは、10m以上の大屋根や、木材を多用した物、デザイン面で注目されるものもあったが、使い勝手を重視し、費用を抑えた片流れの屋根で複雑でない構造で費用を抑えた案を採用した。

Q 屋根付き休憩施設は過大

A 集客力の目玉である桃狩り食べ放題をここで、農産物関連商品販売につなげる。りんごコーナー開村式等多くの来村者を受け入れられれば、比例して農産物も売れ、必要。

Q 24Hトイレと情報

提供施設・休憩施設は隣接させるべき

A 道の駅の考え方に基づき、国土交通省の指導を受けながらの配置になっている。

Q 展望台については

A バリアフリー化は、最適な方法を検討し、設置する方向でいる。

Q レストランの客席を2分した理由は

A お客さんは地元の方と、バスの団体を想定。席を分けることで団体客が騒がしくなっても、地元客が気兼ねなく利用できる。閑散期はエリアを仕切ることで、スタッフ等効率化が計れる。

なお配膳や返却は、子供連れのお母さんや高齢者の方の要望によりスタッフが行う。

運営方法について

Q 早急に法人設立を付帯決議にもある

A 出資金募集範囲や役員登用の在り方など、慎重な審議が必要な内容で、詳細はまだ固まっていけないのが現状。

Q 村の財政負担分の回収は

A 道の駅は「豊丘まるごと6次産業の村づくり構想」の村の農業所得の向上、活性化の拠点となる施設(公設)であり、新法人はその運営を受託する組織なので、減価償却は未計上で問題ない。

Q テナント賃料算定根拠と駐車場・用地の負担分は

A 該当建物部分の建設費を鉄骨造耐用年数の20年で割った金額を見込む。建物は賃料を目的としていないので、不動産運用益の考えはとらない。駐車場、用



村の駅 造成工事の様子

地代の負担は求めない。ただ修繕費は今後協議する。

村の駅工事請負契約の議決について

・入札日 3月24日

・契約金額 5億9400万円

・請負業者 神福建設(株)

・平成30年2月28日工期・3月27日議決

同件の変更契約締結の議決について

・変更請負契約額 7億200万円

・3月30日議決 本事業は国の補助金を受けており、その補助事業費全額を年度内に契約する必要があるため、変更契約するもの。

議会モニター制度を導入 ＝村民の声を議会に反映するため＝

議会改革第一小委員会 委員長 松下 亨

議会活動に対するご意見や評価をしていただく議会モニター制度を導入する。

モニターの活動は、①可能な範囲で本会議はじめ各種の委員会の傍聴、②有線テレビやホームページの閲覧、③議会だよりを読み、意見や感想を寄せる、といった「ご意見等は、今後の活動に生かしていく。」

定員は20名以内で、公募を中心に分館やPTAなどから推薦していただいた。また、議会内に新たに広報広聴委員会を設置して、議会情報をお知らせすると共に、広くご意見を聞き取る組織を近く設置する予定。

なお、これまでの議会だよりモニター制度は新設するこの議会モニター制度に移行する。豊丘村議会は、議会改革委員



傍聴席へどうぞ

喬木村議会との交流会を実施 議会改革・リニア工事について意見交換

議会運営委員会 委員長 唐澤 啓六

議会基本条例は喬木村が先行して制定しており又、議会モニター制度もすでに実施していることから、豊丘村議会が29年度から取りくむモニター制度について、喬木村の経験を学んだ。

モニター制度の導入後、喬木では、会議の傍聴も平均5〜6人とのこと。

その他、両村共実施している住民懇談会の課題や改善点について、政策提言のあり方、議員報酬・定数問題等について意見交換した。

議会改革について

喬木村議会との交流会を2月7日、豊丘村役場で開催した。

共に議会基本条例を制定しており又、リニア中央新幹線への対応についても共通の課題となっていることから、お互いの経験を基に交流した。

リニアについて

伊那山トンネルを生沢坑口からの出水が予想される中、壬生沢川への放流による災害対策等、共通の課題は今後連携して取りくむ必要性を確認した。

又、喬木村では人口密集地区を通過することから、移転や日照権問題も切実との報告があった。

交流会の定期開催を

有意義な交流となつたことから、今後も毎年開催することをお互いに確認した。

入園条件を追加 村外幼保育園料も所得に応じて

社会文教委員会報告 委員長 松下 亨

「豊丘村保育の必要性の認定基準に関する条例」の制定を可決

○条例の内容等

この条例は、国の子育て支援法の施行規則が改正になったために新たに制定するもの。これまでの「保育の実施に関する条例」は廃止される。

内容は、保育の必要性の認定基準の改正で、これまでの認定基準である保護者の労働や疾病など6項目に、次の6項目を追加するもの。いずれも保護者が①求職活動 ②教育施設に在籍 ③職業訓練 ④児童虐待 ⑤配偶者からの暴力 ⑥育児休業の継続に該当する場合に認定するもの。施行は平成29年4月1日。

○審査中の質疑等

認定基準に「児童虐待を行っていると認められた場合」が追加されたが、どのように確認するのかという質疑には、児童相談所などとの連携を密にして対処するとの答弁だった。

これまでの入所基準を厳格に運用すると入所できないケースもあったと思われるが、改正によって基準が緩和され、より実態に合致した内容であり必要な改正であるという意見も出された。

○審査結果

全会一致で可決する。

去る3月3日、付託された条例制定案2件について審査したので、審査の経過と結果について概要を報告する。

「豊丘村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例」の制定を可決

○条例の内容等

これまで保育料徴収の根拠であった児童福祉法が改正され、新たに子ども子育て支援法に基づき規定することに伴う改正。

これにより条例名も「保育料徴収条例」から

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例」と長い名称に改められる。

新条例の内容は、新たに私立保育園と認定子ども園から保育を受けた場合も利用者負担

額を徴収することを規定する。これ以外は旧条例と同じ内容になっている。条例施行日平成29年4月1日。

○審査中の質疑等

これまでの条例では、中途入退所の場合の保育料月額について規定されていたが、新条例では規定されていないとの指摘には、現在作成中の規則で規定すること。



じゃがいもとれたよ！

条例改正とは直接関係しないが、保育料軽減については、保育所の同時入所だけでなく小学校と保育所に通う場合も対象にするよう要望が出された。また、保育料の徴収額表を分かりやすい内容にするよう要望が出された。

○審査結果

全会一致で可決する。

みんなのページ

シリーズ

私がんばっています



松井のぞみさん
(25歳)
(寺垣外)

訓練の後は 皆で御飯に 消防団女性班

私は、JAへ勤めながら消防団の女性班に所属しています。私が消防団に入ろうと思ったきっかけは、一緒に入ろうと友人に誘われたからでした。

の練習をしたり、年に何回かある訓練に、男性団員と一緒に参加したりしています。

私の周りで消防をやっている人がいなかったのので、消防のことをあまり知らずに加入しましたが、今では、消防団に入って良かったと思っています。

大変なこともあります。が、救急法など、とてもためになることを学べますし、大きな訓練の後はみんなで御飯に行ったりして、メリハリがあつて楽しく活動しています。

女性班では、月に一度、みんなで集まって三角巾を使った応急手当

地震など、大きな災害が起こった時に、生まれ育った豊丘のために活躍できるよう、これからも女性班の活動をがんばりたいと思います。

編集後記

▽春爛漫。入学・就職など新たな出発の時。希望に満ちた、それぞれの道での御活躍を祈ります。▽議会も改選後2年と折り返し点。議会だより編集委員会も、現メンバーでの発行は、今回が最終版。発行に直接携わるのは編委でしたが、実はその裏方として、毎号その紙面の評価をして頂き、陰で支えて頂いてきたのが、10人の議会だよりモニターの皆様でした。住民目線で、具体的な提案励ましなど、長い間お世話様になりました。次回からは、議会だよりも含め、議会全体について御意見を伺う「議会モニター」制度に。更に住民と歩む議会をめざして。
(滝川利秋)

発行責任者

議長 長 下平 豊久

編集委員会

委員長	平澤 恒雄
副委員長	竹村 直子
委員	片桐 忠彦
委員	滝川 利秋
委員	川野 孝子